

## 日本のグローバル人材育成と英語教育の関係性

小松 彩子

現在、世界各国ではグローバル化が進展しており、今後も日本を発展させていくためには、世界中の人々と関わりを持ってコミュニケーションを取る必要がある。そのため、世界を股にかけて活躍できる人材の育成、すなわちグローバル人材育成がとても重要とされている。グローバル人材を育成するには、学校における英語教育が重要となってくるが、日本の英語教育は文法や単語の暗記が主な授業内容であり、話す、聞く、読む、書くと言った4技能をバランス良く学習することは難しい現状にある。日本の平均的な英語力は、世界の中でも比較的低い位置に分類されており、その問題を解決すべく学校での英語教育も変化しつつある。これからの日本を担っていく私たちには、どのようなことが求められているのだろうか。

本論では、世界で活躍する人材にはどのような力が必要とされているか、また、その力を培うために、学校での英語教育や留学はどのように作用するかについて考察している。国内の学生などの視点から英語教育について触れ、日本の英語教育の現状と課題を明らかにしている。また、実際に筆者が留学を経験して感じたことも含め、留学で身に付けられる力やグローバル人材育成に留学が関係していることについても論じている。